

山の日制定記念 「常念を見よ」 佐藤嘉市

H28.8.4 (木) 「きぼう」

安曇野市教育長 橋渡 勝也

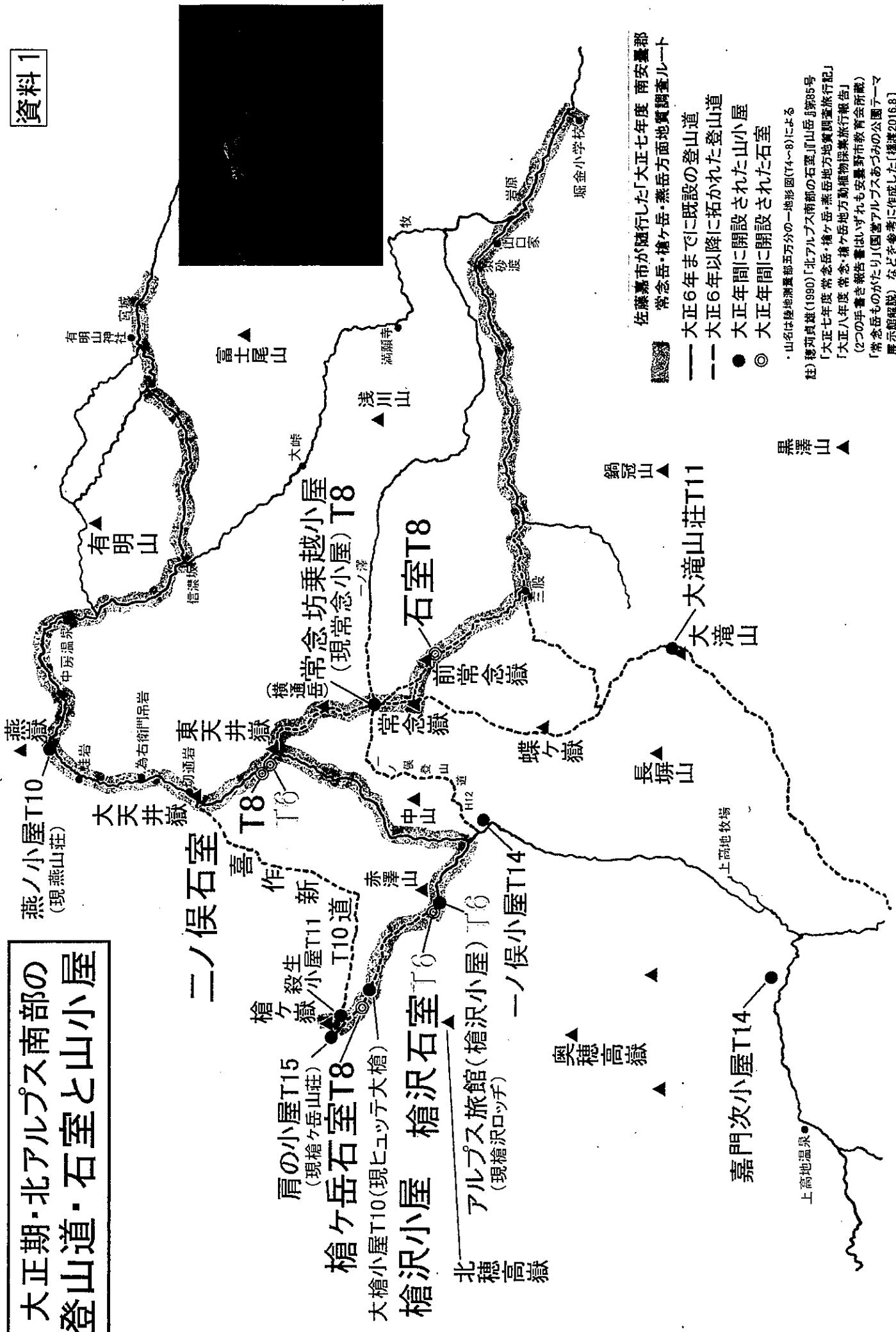
- 1 大正期・北アルプス南部における登山道・石室と山小屋の状況 **資料 1**
 - ・長野県議会「石室十ヶ所の築造」を決定 (T8.6) …前常念岳は含まれず
- 2 佐藤嘉市 (現・飯山市生まれ 1877~1959) 略年譜と堀金尋常高等小学校長時代の佐藤嘉市 **資料 2**
 - ・南安曇郡組合立堀金尋常高等小学校訓導兼校長 (T5.11.26~T8.3) …2 年 4 か月余の在職
- 3 常念岳開発 (三股から前常念岳への登山道整備、前常念岳石室建設) への佐藤嘉市の思い **資料 3**
- 4 証言者たちによる佐藤嘉市の実像

- ①教育者・小説家・作家・評論家 白井吉見が語る“常念校長の思い出” (テレビからの音声録音)
 - ・常念のことしか話さない校長 ・一人奉安殿に最敬礼する校長 ・互いが信ずるままに生きた時代
 - ・小説『安曇野』第三部 (S47.4) …佐藤藤山 (とうざん) の名で登場… (尋常小学校 5・6 年)
 - ・「わが小学校時代」 (S26)、「山近ければ山を忘る」 (S27)、「幼き日の山やま」 (S49) など
- “常念岳によってこれまで知らなかった新しい精神の世界というものが…できてきた” S42 講演会
- ②堀金小学校同僚 折井 満が語る「校歌作曲の頃の思い出」 (作詞は同 輪湖卓三) (肉声)

堀金小学校校歌	
作詞 輪湖卓三	
作曲 折井 満	
一、	八重の白雲おししのぎ
	聳ゆる日本アルプスの
	気高き峰巒 <small>ほうらん</small> そが中に
	ただき高く天をつく
	常念岳の雄々しさよ
二、	麓に開くる烏川
	三田の村人自ら
	気寄りてなりぬ堀金の
	学び舎ここに育ちたり
	見よ烏川の水の色
三、	ここに集える学び見よ
	立てよ理想は山のごと
	磨け心は川のごと
	鍛えに鍛えて金鉄の
	光を四方に輝かせ
	(大正六年制定)

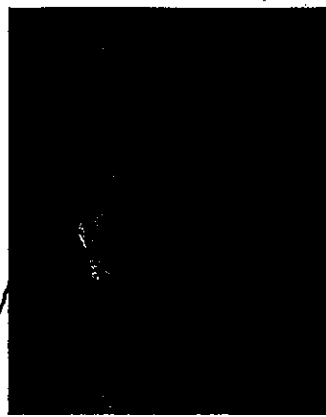
- ③佐藤嘉市本人の証言 (肉声) ※②③は白井文美採録・編集の「常念岳研究会の人々」より
- 5 佐藤嘉市をめぐって
 - ・安曇野市教育会の「常念岳周辺の石室 (跡) を訪ねる旅」、所蔵資料調査 (H24.9~)
 - ・佐藤嘉市生家訪問—白井吉見文学館友の会秋の講演会 (H26.9) —ご遺族親族・遺品との出会い
 - ・大正~昭和初期の登山史を証言をもとに記録した教師・白井文美の残したもの
 - ・「佐藤嘉市と大正期の常念岳登山」展 (「みらい」 H28.3.8~4.24、堀金図書館 4.26~8.28)
- 6 常念岳研究会長佐藤嘉市が語る「これからの登山についての希望」 (肉声)
 - 「信州の山というものは天与の山であって、自然が信州に与えた山というものの尊さというものを長くこれを観光方面において発揮する、同時に精神的方面において各小中学校その他において深く用いられんことを希望します」

大正期・北アルプス南部の
登山道・石室・山小屋



佐藤嘉市が随行した「大正七年度 南安曇郡
常念岳・槍ヶ岳・燕岳方面地質調査ルート」
 大正六年までに既設の登山道
 大正六年以降に拓かれた登山道
 ● 大正年間に開設された山小屋
 ◎ 大正年間に開設された石室

・山名は陸地測量部五万分の一地形図(T4~8)による
 柱)穂苅貞雄(1980)「北アルプス南部の石室」『山岳』第85号
 「大正七年度 常念岳・槍ヶ岳・燕岳地方地質調査旅行記」
 「大正八年度 常念・槍ヶ岳地方動植物採集旅行報告」
 (2つの手書き報告書はいずれも安曇野市教育会所蔵)
 「常念岳ものがたり」(国書アルプスあづみの公園テーマ
 展示館解説)などを参考に作成した〔標度2016.8〕



佐藤嘉市略年譜

- ・明治 10 年 (1877) 6. 15 下高井郡高野村関沢 (飯山市瑞穂) に生まれる
- ・明治 32 年 (1899) 長野県師範学校卒業、組合立下高井高等小学校訓導
- ・明治 36 年 (1903) 『下高井繁昌記』出版 (26 歳)
- ・明治 41 年 (1908) 下高井郡瑞穂尋常高等小学校訓導兼校長 (31 歳)
- ・明治 45 年・大正元年 (1912) 下水内郡視学、大正 3 年 埴科郡視学
- ・大正 5 年 (1916) 11. 26 南安曇郡組合立堀金尋常高等小学校訓導兼校長 (39 歳)
- ・大正 8 年 (1919) 下高井郡瑞穂尋常高等小学校訓導兼校長 (42 歳)
- ・大正 11 年 (1922) 下高井郡平岡尋常高等小学校訓導兼校長 (45 歳)
- ・大正 13 年 (1924) 下高井郡平穩尋常高等小学校訓導兼校長 (47 歳)
- ・昭和 12 年 (1937) 下高井郡平穩尋常高等小学校退職 (60 歳)
- ・昭和 34 年 (1959) 11. 26 生家にて感冒に罹患、肺炎を併発して病没 (82 歳)

堀金尋常高等小学校長時代の佐藤嘉市の足跡

大正 5 年 (1916) (7 月信濃鉄道・現 JR 大糸線 松本一大町間全通)

- ・11. 26 佐藤嘉市校長着任

大正 6 年 (1917)

- ・6. 偵察登山 (佐藤校長・岡里・飯島・野村・丸山)
- ・6. 「日本アルプス開発石室建設のため郡費支弁又は補助」請願を郡役所へ提出準備
- ・6. 30 「常念岳研究会開催通知」を青年会長へ配布 (7. 2 常念岳研究会開催)
- ・7. 22 佐藤嘉市ら堀金小学校職員 14 名による初めての常念岳登山
- ・8. 1 第 1 回信濃木崎夏期大学、白馬岳登山に参加
- ・8. 10 第 1 回団体登山実施 22 名参加

大正 7 年 (1918) (4 月堀金小学校隣家より火災発生 11 月スペイン風邪の大流行 妻病没)

- ・6. 27 常念岳研究会は趣意書を村内に配布、募金活動開始、三股からの登山道整備
- ・7. 21 前常念岳石室地鎮祭
- ・7. 31~8. 4 南安曇教育会「常念岳・東天井槍ヶ岳・燕岳地方地質調査」に同行
- ・9. 23 『創立三十周年記念学校沿革誌』発行
- ・10. 13 第 2 回団体登山実施

大正 8 年 (1919)

- ・3. 堀金小学校を離任
- ・6. 15 営林署から借地と木材払下げの許可が下りる
- ・7. 1 前常念岳石室竣工、常念岳研究会が建設標を建立
- ・7. 21 前常念岳石室落成を祝う団体登山 40 余名

[郷土誌資料「堀金」第 4 号 堀金村教育委員会 昭和 46 年、『南安曇教育会百年誌』(南安曇教育会百年誌編集委員会編集) 南安曇教育会 昭和 63 年、『佐藤藤山追憶集』(佐藤春夫編集) 信濃教育会出版部 昭和 63 年などを参考に作成 橋渡]

日本アルプス八天下ノ名山ニシテ常念嶽ハ其群山中ノ第壹峰ナリ海抜壹萬參千尺堂々タル雄姿以テ仰グベシ旭日ノ照映スルトコロ玲瓏珠ノ如シ嶽麓ノ鬱然タル大森林内ニ藏スル無限ノ富惟フニ一大宝库ナリト謂フベシ嶽ノ背後ニ鑿ケ嶽アリ南方ニ上高地アリ北方ニ中房アリ何レモ鳥川ヲ溯リ常念ヲ經ルヲ最モ便利ナル通路ナリトス天我堀金ト與アルニコノ名山ヲ以テスコレラ開發スルハ真ニ我三田鳥川兩村ノ一大任務ナラズヤ而シテソノ開發ノ第壹荷ハ通路ヲ定メテ以テ日本アルプスノ中央閥所ヲ天下ニ紹介スルニアリ明科田沢駅ヲ降りル者ハ直ニ西方常念ヲ望ムベリ松本ニ入ルモノハ豊科ヲ降りテ正ニコノ閥門ニ入ランカツテ天下ノ名士雲ノ如クニ集マリ此地ニ來遊志テ年々羊々其數ヲ増シ天與ノ宝库自ラ開發セキシヲ地方ノ福利ヲ増進スルコト莫大ナルモノアラン況ンヤ我地方青年有志多數ノ登攀者ガコレニヨリテ享クルトコロノ精神的ノ利得ニ至ツテハ筆紙ノヨク畫ストコレニアラザルナリ之ハ要スルニ常念口開通ハ僅ニ壹区壹部ノ問題ニアラズシテ實ニ我が地方ニ於ケル重要ナル問題ナリトス幸ニ常念嶽ニ對シテ最モ關係深キ我堀金ノ各青年會ノ協同的努力ニヨツテ其目的ヲ貫徹セシコトヲ切望ス茲ニコノ主旨ヲ以テ左記要項ニヨリ堀金学校内ニ常念嶽研究会を開催ス奮テ各位ノ贊同ヲ乞フ

記

- 一、期日 七月二日午后六時ヨリ
- 一、会場 堀金学校内
- 一、各青年會長或ハ其代理者ハ必ず出席アリタキコト
- 一、出席者ハ登山者ニツキ順路其他參考ニ供スベキ材料ヲ徴セラレタキコト

以上

大正六年六月三十日

堀金学校長

青年會長

殿

〔佐藤嘉市直筆常念嶽研究会開催通知草稿（個人蔵）橋渡〕

日本アルプス八天下ノ名山ニシテ常念嶽ハ其群山中ノ第壹峰ナリ海抜壹萬參千尺堂々タル雄姿以テ仰グベシ旭日ノ照映スルトコロ玲瓏珠ノ如シ嶽麓ノ鬱然タル大森林内ニ藏スル無限ノ富惟フニ一大宝库ナリト謂フベシ嶽ノ背後ニ鑿ケ嶽アリ南方ニ上高地アリ北方ニ中房アリ何レモ鳥川ヲ溯リ常念ヲ經ルヲ最モ便利ナル通路ナリトス天我堀金ト與アルニコノ名山ヲ以テスコレラ開發スルハ真ニ我三田鳥川兩村ノ一大任務ナラズヤ而シテソノ開發ノ第壹荷ハ通路ヲ定メテ以テ日本アルプスノ中央閥所ヲ天下ニ紹介スルニアリ明科田沢駅ヲ降りル者ハ直ニ西方常念ヲ望ムベリ松本ニ入ルモノハ豊科ヲ降りテ正ニコノ閥門ニ入ランカツテ天下ノ名士雲ノ如クニ集マリ此地ニ來遊志テ年々羊々其數ヲ増シ天與ノ宝库自ラ開發セキシヲ地方ノ福利ヲ増進スルコト莫大ナルモノアラン況ンヤ我地方青年有志多數ノ登攀者ガコレニヨリテ享クルトコロノ精神的ノ利得ニ至ツテハ筆紙ノヨク畫ストコレニアラザルナリ之ハ要スルニ常念口開通ハ僅ニ壹区壹部ノ問題ニアラズシテ實ニ我が地方ニ於ケル重要ナル問題ナリトス幸ニ常念嶽ニ對シテ最モ關係深キ我堀金ノ各青年會ノ協同的努力ニヨツテ其目的ヲ貫徹セシコトヲ切望ス茲ニコノ主旨ヲ以テ左記要項ニヨリ堀金学校内ニ常念嶽研究会を開催ス奮テ各位ノ贊同ヲ乞フ

記

- 一、期日 七月二日午後六時ヨリ
- 一、会場 堀金学校内
- 一、各青年會長或ハ其代理者ハ必ず出席アリタキコト
- 一、出席者ハ登山者ニツキ順路其他參考ニ供スベキ材料ヲ徴セラレタキコト

大正六年六月三十日

堀金学校長

青年會長

殿